わだち

WADACHI

2025年 新年号

vol. 517
2025.1
Fukushima Trucking Association report
福島県トラック協会広報誌

FUKUTORA TOPICS

- 新年のご挨拶
- 令和6年度「トラックの日」キャンペーン事業
- 女子トラと歴史のわだちでエトセトラ(県南地方)

＃女子トラ走る　福島県トラック協会 オフィシャルYouTube公開中

▲こちらから！

公益社団法人 福島県トラック協会
FUKUSHIMA TRUCKING ASSOCIATION

Contents –目次–

県ト協NEWS
新年のご挨拶 (公社)福島県トラック協会 会長 佐藤 信成 …… 1
新年のご挨拶 東北運輸局 福島運輸支局長 佐藤 雅和 …… 2
新年のご挨拶 福島県知事 内堀 雅雄 …… 3
新年のご挨拶 福島県警察本部 交通部長 武藤 孝雄 …… 4
令和6年度 第4回理事会 …… 5
ハローワークとの共催 人材採用に関する説明会 …… 5
「事故防止決起大会(車輪脱落事故防止・飲酒運転根絶)」を開催… 6
会員だより …… 6
ふくしまゼロカーボンアワード 2024 …… 7
令和6年度「陸運事業者のための安全マネジメント研修」を開催… 7
適正化だより …… 7
支部だより …… 8
ふくトラ・インフォメーション …… 10
会津本郷貨物運送㈱が「ラッピングトラック」で会津を発信 …… 10
長時間労働削減企業であるハシコー梱包運輸を労働局長が訪問 …… 10
令和6年度「トラックの日」キャンペーン事業 …… 11
イメージアップ PR 動画 いわき市 料理教室 ver. レシピ…… 12
A day in the life ～今活躍している女性たち～ …… 13
女子トラと歴史のわだちでエトセトラ …… 14
陸災防 NEWS …… 16
東北交通共済 新年のご挨拶 …… 17
全国トラックドライバーコンテスト／編集後記 …… 18

お知らせ

交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は下記の通りとなります。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

よろしくお願いします！

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2024年（概数）	発生件数	6	1	3	3	6	6	3	4	5	6	6		49
	死者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		1
	傷者数	9	1	3	2	8	9	4	6	6	6	8		62

4つの心得

- 交通ルールの遵守
- 思いやり運転等交通マナーアップ
- 速度の抑制
- 交差点での安全確認の励行

令和７年

新年のご挨拶

公益社団法人福島県トラック協会
会　長　佐藤 信成

新年明けましておめでとうございます。

会員皆様には、健やかに新年を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、福島県トラック協会の事業活動に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和７年の新春を迎え謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

旧年は４月よりトラックドライバーの時間外労働時間の上限規制並びに改正改善基準告示が施行され、労働時間の短縮に伴い輸送能力が不足し「モノが運べなくなる」可能性が懸念されると言ういわゆる「物流の2024年問題」に直面する年になりました。

この問題は、未だ根本的な解決に至っておらず、年があけた本年は2025年問題、翌年は2026年問題と続いて行くのかと思います。

輸送能力不足は、年を重ねるごとに増え続け2030年には輸送量の34％が運べなくなる可能性があると試算されています。その要因には、慢性的な人手不足の解消が進まない中、近年退職を迎える高齢ドライバーの割合が多いことが挙げられています。

物流問題の解決には、ドライバー確保が最重要課題だと言えます。そのためには、労働環境の改善・賃金の改善と、荷主と消費者の理解と協力が必要であり、持続的な交渉が必要となるでしょう。

昨年11月末に中小企業庁が発表した物価高騰による企業の価格交渉、価格転嫁率の業種別ランキングによると、残念なことにトラック運送業は、30業種中最下位という結果となっています。

更に、石破内閣発足後、石破総理大臣は最低賃金に関し2020年代に全国平均1500円に引き上げることを目標にするとしています。福島県の最低賃金は現在955円です。その目標が2029年に達成されると５年間で545円賃上げすることになります。この上昇額は福島県で40年かかって上昇した賃金額と同じです。一般事務員の初任給が現在180,000円～200,000円であるものが270,000円～300,000円になる計算です。

このことから本年トラック協会は、ドライバー確保に繋がる更なるイメージアップ戦略、交渉力強化に向けてのセミナーの開催を進めてまいります。

トラック運送業界は「安全で安心な輸送サービスを提供し続ける」という社会的使命があり、常に安全を最優先しなければなりません。会員の皆様には、社会問題にもなっている飲酒運転の根絶、車輪脱落事故撲滅のための取組をより一層強化していただくようお願いいたします。

結びに、令和７年が皆様にとって幸多き一年となりますように祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

令和７年

新年のご挨拶

東北運輸局
福島運輸支局長　佐藤　雅和

新年、明けましておめでとうございます。
令和7年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会　佐藤会長はじめ会員の皆様方には、日頃より国土交通行政各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方には、物流を通じて社会に貢献されるとともに、交通事故防止や環境対策にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

さて、東日本大震災、東京電力福島第一原発事故の発生から間もなく14年となります。関係皆様のご尽力により被災地の復興に向けた取組は着実に進んでおりますが、真の復興への道のりは未だ半ばにあると言わざるを得ません。被災地の復興に向けた取り組みは、関係者の皆様のご尽力により着実に前進しており、被災地域における経済活動が活発化していく中で、物流の果たす役割は非常に重要となります。「福島の復興」が更に進むことを願うとともに、福島運輸支局としましても、引き続き被災地の方々に寄り添った復興施策を実施してまいります。

トラック運送業界においても、従前からの課題である取引環境改善、運転者不足や2024年４月から適用されているドライバーに対する時間外労働上限規制等の働き方改革への対応に加え、燃料価格の高騰などにより運送事業を取り巻く環境は大変厳しい状況となっている中、地域生活や経済活動を支えるため事業を継続されているトラック運送事業者の皆様のご尽力に深く敬意を表します。

福島運輸支局といたしましては、平成27年に設置した「トラック輸送における取引環境・労働時間改善福島県協議会」において、関係皆様のご協力をいただきながら、トラック事業者と荷主との取引環境の改善やドライバーの長時間労働の是正等の課題解決に向けた取組を進めてまいります。また、令和５年７月には「トラックＧメン」が創設され、発荷主企業のみならず着荷主企業も含め、適正な取引を阻害する疑いのある荷主企業・元請事業者への監視体制が強化されたところですが、令和６年11月には「トラック・物流Ｇメン」として倉庫業者からも情報収集を行う体制に拡充されております。「トラックＧメン」による調査結果を貨物自動車運送事業法に基づく荷主企業・元請事業者への「働きかけ」「要請」等に活用し、実効性を確保してまいります。なお、適正化事業実施機関にもＧメン調査員が配置され、当支局と連携して情報収集を行っていただいているところです。運転者不足については、支局長による高等学校訪問をはじめとした人材の確保・育成に向けた取組を引き続き実施し推進してまいります。

「標準的な運賃」は、トラックドライバーの労働条件を改善し、トラック運送事業がその機能を維持しながら国民生活と経済を支えていくために、法令を遵守して経営する際の参考となる運賃を示すことを目的として国土交通省が令和２年４月に告示したところですが、令和６年３月には運賃水準を８％引き上げるとともに、荷役の対価等を加算した新たな「標準的運賃」を告示しました。福島運輸支局としましても、今後も「標準的運賃」が実勢運賃に反映されるよう、トラック事業者、荷主企業の皆様に対して浸透を図る取組を行ってまいります。

自動車運送事業にとって、「輸送の安全・安心の確保」は最大の使命であり、そのため、企業の経営トップから現場乗務員に至るまで輸送の安全の重要性を認識し、絶えず安全性の向上に企業全体で取り組むことが重要です。福島運輸支局といたしましても、「安全」と「安心」を根幹に据えて、貴協会と連携しながら各種課題に取り組んでまいります。

運送業界を取り巻く課題は多岐にわたり、環境意識の高まりや新型コロナウイルス感染症により変化した社会の状況を踏まえ、ＤＸやカーボンニュートラルに向けた動きも活発化しております。福島運輸支局といたしましても、貴協会をはじめ関係機関と連携を図りながら、自動車運送事業における安全対策に万全を期すとともに、事業の活性化に向けた取組等、課題の解決に向けて努力してまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福島県トラック協会並びに会員事業者皆様方の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

復興と地方創生の新たなステージに向けて

福島県知事　内堀　雅雄

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様には、日頃から本県の交通行政全般にわたり、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、本県の物流サービスの重要な担い手として、産業活動を支え、県民生活の向上に御尽力いただくとともに、運送事業を通じた交通安全の推進に積極的に取り組まれていることに対しまして、深く感謝申し上げます。

昨年は、パリ2024オリンピック・パラリンピックでの本県関係選手の活躍や、福島デンソーエアリービーズの郡山市へのホームタウン移転など、スポーツに関する明るい話題が続いたほか、奥会津ビジターセンターの開所や、2026年春のふくしまデスティネーションキャンペーンの開催決定など、今後の復興と地方創生を大きく後押しする動きも数多く見られました。

また、震災と原発事故から間もなく14年が経過する中、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、避難地域では、4つの町に認定された全ての特定帰還居住区域において除染・解体作業が進められています。

さらに、震災後、55の国・地域で行われていた県産農林水産物の輸入規制は、6つの国・地域にまで減少し、県産農産物の輸出量が過去最高を記録したほか、県内への移住者数も過去最多を更新するなど、これまで続けてきた挑戦の成果が目に見える形となって現れてきています。

一方で、廃炉と汚染水・処理水対策を始めとした原子力災害に伴う様々な課題に加え、急激に進む人口減少や度重なる自然災害への対応など、依然として困難な課題が山積しており、長い戦いとなる本県の復興と「福島ならでは」の地方創生を成し遂げるためには、今後も更なる挑戦を続けていかなければなりません。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、令和7年度が最終年度となる第2期復興・創生期間後のステージを見据えながら、復興の進捗に伴って生じる新たな課題やニーズに的確に対応していくとともに、被災者の生活再建や事業・生業の再生、帰還に向けた環境整備、風評の払拭と風化の防止などに全力で取り組んでまいります。

また、喫緊の課題である人口減少対策につきましては、急激な人口減少のスピードをいかに緩やかにしていくかが、福島の未来にとって大変重要となります。

このため、市町村や企業など様々な主体と危機感を共有しながら、出会い・結婚から妊娠・出産、子育てのライフステージに応じた切れ目のない支援などの「自然減対策」と、県内で働く魅力を戦略的に発信し、若者の県内定着・還流を図る取組や、移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大などの「社会減対策」の両面から人口減少対策に粘り強く取り組んでまいります。

今年4月からは、「しあわせの風ふくしま」をキャッチコピーにプレＤＣがスタートします。来年の本番に向けた機運醸成を図りながら、多くの皆様に、本県の様々な魅力と復興に向けて力強く歩み続ける福島の今を「見て」「食べて」「感じて」いただけるよう、準備を進めてまいります。

今後も、県政運営の羅針盤である総合計画に掲げる取組を一つ一つ着実に前へ進めながら、県民の皆様と共に、挑戦を続けてまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。

令和７年

年頭のご挨拶

福島県警察本部
交通部長　武藤　孝雄

新年、明けましておめでとうございます。

公益社団法人福島県トラック協会の皆様方には、日頃から交通安全活動をはじめ、警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

昨年中は、貴協会には各事業所における安全運行管理はもとより、セーフティチャレンジ事業への参加と、各種交通事故防止に向けた研修会を定期的に開催するなど、交通事故防止活動を通じた実践的な安全運転教育の実施や東北ハイウェイ・セーフティ作戦による高速道路における交通事故防止活動、交通事故防止コンクール表彰など協会一丸となって県内の交通事故防止に多大なご尽力をいただきました。

特に、福島県薬剤師会・家庭の交通安全推進員と連携した事業では、薬局を訪れる高齢者への夜光反射材の配布や、県内の小学６年生の児童から祖父母などの身近な高齢者への夜光反射材の配布など、高齢歩行者の交通事故防止対策や夜光反射材の着用促進を実施していただき、貴協会の交通安全活動にあらためて感謝を申し上げます。

さて、昨年の県内の交通事故の情勢は、１月と10月に交通死亡事故が続発し、「交通死亡事故全県警報」が２度も発令されたほか、鏡石町では社会的反響の大きい高齢運転者のブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通死亡事故が発生いたしました。

ペダル踏み間違いによる交通事故は老若男女問わず引き起こす可能性があり、多重衝突など、甚大な被害をもたらす事故であり、その対策が課題となっています。

また、飲酒運転による交通事故が絶えず、飲酒運転対策として安全運転管理者による運転前後のドライバーに対する酒気帯び確認などが義務づけられ、11月には道路交通法が改正され、自転車利用者の酒気帯び運転も罰則規定が設けられました。

全国的にも飲酒運転を取り巻く社会環境は大きく変化しつつありますが、依然として飲酒運転による重大な交通事故が絶えない状況にあります。

こうした情勢に対応すべく、県警察では、本年の重点目標の1つに「総合的な交通事故防止対策の推進」を掲げ、県民を悲惨な交通事故から守るため、地域と一体となった交通安全活動を継続的に推進するとともに、交通事故の発生実態を多角的に分析し、その結果に基づいた交通安全対策の推進や持続可能な交通規制への整備を行ってまいります。

そのほか、運転者・自転車利用者に対する交通指導取締りや運転者・歩行者に対する参加・体験・実践的な交通安全教育を推進するとともに、関係機関・団体と連携した広報活動を通じて、県民への交通安全思想の普及と浸透を図り、安全・安心で快適な秩序ある交通社会を実現してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、本年も引き続き、県警察と連携した交通事故防止対策の推進をお願い申し上げますとともに、交通安全意識の高揚、啓発活動の推進などにつきまして、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、公益社団法人福島県トラック協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御多幸をお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

県ト協 NEWS

令和６年度 第４回理事会

開催日　令和６年11月27日㈬　場　所　福島市 福島研修センター「大会議室」
出席理事　25名　出席監事　３名

報告事項

- 報告事項の1　「Gマークラッピングトラック」協力事業者について
- 報告事項の2　令和6年度「トラックの森づくり事業」の結果について
- 報告事項の3　第56回 全国トラックドライバーコンテスト結果について

議題

第1号議案　入会会員及び退会会員について
３社の入会、７社の退会が可決された。
（承認後会員数1,215（賛助会員含む））

第2号議案　副会長の補充選任について
原案通り可決された。

第3号議案　委員会構成の変更について
原案通り可決された。

第4号議案　「事故防止決起大会（車輪脱落事故防止・飲酒運転根絶）」の実施について
原案通り可決された。

第5号議案　広報委員会の審議結果について
①令和６年度物流セミナーについて
原案通り可決された。
②令和７年度「わだち」の発行頻度について
原案通り可決された。
③令和７年度「トラックの日」キャンペーン事業について
原案通り可決された。

第6号議案　総務委員会の答申について
原案通り可決された。

第7号議案　車輪脱落防止器具の購入費用助成について
原案通り可決された。

その他　今後の行事予定について

ハローワーク福島・福島県トラック協会・福島県トラック協会県北支部　共同開催

運送事業者向け説明会～『「伝わる」求人票を作ろう!』～を開催

開催日　令和６年11月25日㈪　場　所　福島市 福島研修センター2階会議室
参加者　県北支部会員 11名　講　師　福島公共職業安定所　求人企画部門 統括職業指導官 松本 和夫様

トラック運送業界では、深刻なドライバー不足に加え、令和６年４月から施行された「改正改善基準告示」など、いわゆる2024年問題や働き方改革への対応が喫緊の課題となっています。このような状況を踏まえ、人材採用に関する説明会を開催した。

説明会では、求人票において仕事内容や会社の特徴（PRポイント）の記載を充実させることの重要性について学んだ。また、実際に求人票を作成するワークショップも行われ、具体的な方法を体験的に学ぶ機会となった。

講　演

「事故防止決起大会（車輪脱落事故防止・飲酒運転根絶）」を開催

開催日 令和６年12月18日㈬　**場　所** 西白河郡泉崎村（公社）福島県トラック協会 白河の関トラックステーション2階研修室
参加者 約110名　**来　賓** 東北運輸局福島運輸支局　佐藤 雅和 支局長
福島県警察本部　武藤 孝雄 交通部長（代理 福島県警察高速道路交通警察隊　小松 聖英 隊長）
講　演 「防ごう！大型車の車輪脱落事故」　**講　師** 福島日野自動車株式会社 本社部品サービス部　吉田 義輝 課長

福島県トラック協会は、これから本番を迎える冬道の安全走行等について、改めての注意喚起と適切な点検・点呼の実施を徹底することを目的として、会員事業者を緊急に招集し「事故防止決起大会（車輪脱落事故防止並びに飲酒運転根絶）」を開催した。

冒頭のあいさつで、佐藤信成会長は、「悲惨な事故を防ぐため、そして本人や家族、会社を守るためにルールを守り、適切な点検・点呼を徹底してほしい」と呼びかけた。

来賓からは、佐藤支局長より「令和５年度の車輪脱落事故は福島県内において６件発生しており、幸い人身事故は発生していないが、過去には全国で死亡事故が発生している。運行開始時、休憩後や食事の後、荷扱い等での停車など、運転席に乗り込む前に左後輪の状態を必ずチェックするよう、運転者への周知・啓発をお願いしたい。飲酒運転禁止は必ず守らなければならない基本ルールである。飲酒運転のリスクを充分認識し、運行管理や指導、教育ついては、必ず実効性のあるものにしていただくと共に、飲酒運転の根絶に取り組んでいただきたい。自動車事故は被害者はもちろんのこと、加害者や会社にとっても大きな代償を負うものとなる。適正な運行管理の実施、指導、教育へのご理解とご協力をお願いしたい。」とあいさつがあり、県警高速交通隊小松隊長より「交通事故発生件数が増加しており大変懸念している。今大会を契機とし、職場や家庭からの飲酒運転の一掃、薄暮時の横断歩行者の保護及び適切な休憩の確保に関する指示などの交通事故の防止にご協力いただきたい。」とあいさつがあった。

続いて講演が行われ、「大型車の脱輪事故発生状況」「ホイールボルト、ナット」「車輪脱落事故防止のために」ついて、具体的な資料に基づき講じられた。

最後に、吉田雅弘青年部会長が「車輪脱落事故防止並びに飲酒運転根絶に関する宣言」を読み上げ、参加者全員の拍手で承認された。宣言は下記のとおり。

車輪脱落事故並びに飲酒運転根絶に関する宣言

- 経営トップが先頭に立ち、交通事故防止活動を積極的に推進する
- 日常点検の徹底、増し締め等の確実な実施により『車輪脱落事故防止』を徹底する
- 出庫及び帰庫時における対面点呼で、目視及びアルコールチェッカーを用いた確実かつ厳正な点呼の実施等により『飲酒運転根絶』への取組みを徹底する
- 労働時間等の改善基準に則った運行及び過労運転防止を徹底する
- 運転者の健康に起因した交通事故防止を徹底する

会員だより

会員事業所の最新情報

新規入会事業所

支　部	店・社名	代表者名	郵便番号	住　所	車両台数
県中	㈲栄伸物流　本宮営業所	和田　正	969-1100	本宮市本宮字南ノ内 63-1	8
会津	南総建㈱	目黒　良樹	967-0611	南会津郡南会津町山口字堀田 791	9
相双	富岡生コン㈱	櫻井　貫	979-1141	双葉郡富岡町大字上手岡字茂手木 41-1	6

新賛助会員事業所

支　部	店・社名	代表者名	郵便番号	住　所	車両台数
県北	㈱シンクラン　福島営業所	手塚　正人	960-0101	福島市瀬上町字西中川原 76-2 コカ・コーラボトラーズジャパン㈱ 福島セールスセンター内	6
	福島運送㈱　伊達桑折インター営業所	斎藤　敏行	969-1652	伊達郡桑折町大字成田字元宿 22-3	11
会津	㈱シンクラン　会津営業所	手塚　正人	965-0059	会津若松市インター西 33-3 コカ・コーラボトラーズジャパン㈱ 会津セールスセンター内	5
いわき	㈱シンクラン　いわき営業所	手塚　正人	970-8024	いわき市平北白土字宮前 41 コカ・コーラボトラーズジャパン㈱ いわきセールスセンター内	5

ふくしまゼロカーボンアワード2024 ㈱デイリー サービスが最優秀賞

開催日 令和６年12月９日㈪　場　所 福島市 ホテル福島グリーンパレス

「ふくしまゼロカーボンアワード」は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県内において地球温暖化対策に率先して取り組んでいるモデル的な事業所を表彰し、こうした事業所をけん引役として、県内すべての事業所における地球温暖化対策の推進をはかる福島県の取組である。

この度、㈱デイリーサービスが運輸部門で最優秀賞を受賞した。デイリーサービスでは効果的な取組を推進するためＫＰＩを設定したうえで、社内において原因や改善案を定期的に検討しながら、アイドリングストップなどによる燃料使用量の削減や内洗車機の導入による水道使用量の削減、特注コンテナ導入による積載率の向上など、様々な取組を意欲的に進めている点が高く評価された。

授賞式の様子
内堀知事より賞状を受けとるデイリーサービス引地孝之社長

令和6年度「陸運事業者のための安全マネジメント研修」を開催

開催日 令和６年12月６日㈮　場　所 郡山市 県中研修センター　参加者 100名
講　師 陸上貨物運送事業労働災害防止協会　安全管理士 今井　侯 氏

本研修は「運輸安全マネジメント」と「陸運業における労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン（RIKMS）」の両マネジメントを理解し、一体的に運用することにより、事故や災害のリスク低減、安全衛生のレベルアップを図ることを目的に開催された。

研修では運輸安全向上のためのPDCAサイクル管理手法やリスクアセスメントの具体的な進め方について講演が行われた。

適正化だより Fukushima Trucking Association report

防ごう！車輪脱落事故

ホイール・ボルトの折損等による大型車の車輪脱落事故は令和５年度には142件発生しており、当該事故の時期は冬期（11月～3月）に集中し、冬用タイヤ交換後1ヶ月以内に多く発生する傾向にあります。また、車籍別にみると東北地区で多く発生し、約40％の割合を占めています。

令和５年10月１日より車輪脱落事故防止対策として、
自動車運送事業者及び整備管理者に対する行政処分が強化されました。

車両総重量８ｔ以上のトラックで、ホイール・ナットの脱落などの車輪脱落事故を起こすと、行政処分等により**車両の使用停止**になります。さらに３年以内に再発すると**整備管理者は解任**されます。

車両の使用停止期間		
	初　違　反	２０日車
	再　違　反	４０日車

※車輪が脱落した要因に事業者の関与がなく事業者による点検整備が確実に行われていることの証明があった場合を除く。車両総重量８ｔ以上の自動車に限る。

【車輪脱落を防ぐ５つのポイント『お・と・さ・な・い』】のポスターを同封いたしますのでご活用ください。

『左後輪チェックOK』のステッカーを希望事業者へ無料配布いたします。
数に限りがございますので、希望される場合はQRコードよりお早目にご連絡ください。

◎事業所/営業所名、◎担当者名、◎送り先住所、◎枚数
上記を必ず入力し送信してください。

適正化事業部　菅野 誠

支部だより

各支部の活動をお知らせ

県北支部　健康増進ボウリング大会を開催

開催日 令和６年11月９日㈯　**場　所** 福島市 福島オークラボウル　**参加者** 106名（含事務局）

県北支部（蓬田隆信支部長）は支部会員の健康増進と親睦を目的としたボウリング大会を開催した。団体戦と個人戦が行われ２ゲームで得点を競った。

競技結果

団体戦	優　勝	㈱サエキ輸送
	準優勝	㈱福島北桑運輸
個人戦	優　勝	宍戸 正晴（㈲伊達配送）
	準優勝	大室 竜麻（㈱サエキ輸送）

「年末年始の事件・事故防止活動」出動式に参加

開催日 令和６年12月10日㈫　**場　所** 福島市 イオン福島店南側駐車場

参加者 蓬田支部長、佐伯副支部長、女性部会３名他

福島北警察署主催で年末年始における事件事故防止活動出動式が行われ６名が参加した。

県中支部　事故防止講習会（郡山・本宮地区）を開催

開催日 令和６年11月16日㈯　**場　所** 郡山市 県中研修センター　**参加者** 82名

講習会

講演①「高速道路における事故防止」について

講師 福島県警察高速道路交通警察隊
郡山分駐隊長 鈴木 秀樹 氏

講演②「陸上貨物運送事業における労働災害防止対策」
～荷役作業時の労働災害と交通労働災害～

講師 陸上貨物運送事業労働災害防止協会【本部】
技術管理部 調査課課長 紀伊 洋一 氏

スポーツ交流懇親ゴルフコンペを開催

開催日 令和６年11月22日㈮

場　所 郡山市「郡山ゴルフ倶楽部」　**参加者** 32名

上位入賞者は、次の通り。

成　績

優　勝	渡部　　誠（常磐郵便輸送㈱）
準優勝	小野田 弘明（県ト協 県中支部長）
第3位	大石田　　忠（東北鉄道運輸㈱郡山営業所）

郡山市へ寄付金を贈呈

開催日 令和６年12月３日㈫　**場　所** 郡山市 郡山市役所

内　容 交通遺児に対する激励金の贈呈

◀品川郡山市長から感謝状を受け取る小野田支部長

県南支部

「安全大会」を開催

開催日　令和６年11月16日㈯
場　所　西白河郡 白河の関トラックステーション
参加者　73名
講　習　演題：「表現する事～あなたも私も表現者～」
講師　ラジオパーソナリティ 鈴木 美伸 氏

安全パトロールを実施

県南支部（橋本一美支部長）が「令和６年度年末年始労働災害防止強調運動」の一環として安全パトロールを実施した。

開催日　令和６年12月４日㈬　対象事業者数　７社
場　所　須賀川地区会員事業所
巡回指導者　橋本 一美 県南支部長、菊池 良造 県南副支部長、須賀川労働基準監督署 齋藤 敏彦 署長

開催日　令和６年12月11日㈬　対象事業者数　６社
場　所　白河・東白地区会員事業所
巡回指導者　橋本 一美 県南支部長、人見 守良 安全委員長、白河労働基準監督署 森合 吉徳 署長

相双支部

スポーツ交流懇親ゴルフコンペを開催

開催日　令和６年11月16日㈯　参加者　26名
場　所　南相馬市 鹿島カントリー倶楽部

上位入賞者は、次の通り。

成績
- 優　勝　松本 純一（ダンロップタイヤ東北㈱原町㈱）
- 準優勝　佐藤 信成（県ト協会長）
- 第3位　賀澤 享男（㈲ライジング）
- ベスグロ　下河邊 聡（天龍運送㈱）

いわき支部

安全運転ドライバー研修会を開催

開催日　令和６年11月９日㈯　参加者　23名
場　所　いわき市 タイヘイドライバーズスクール

いわき支部（松尾活秀支部長）が安全運転ドライバー研修会を開催した。
研修会は座学、実技のカリキュラムとなり、受講者は適性診断を活用した実技走行などに取り組んだ。

第5回「高齢化社会に生きるプロドライバーのあり方」事故防止研修会を開催

開催日　令和６年11月16日㈯　参加者　20名
場　所　いわき市 タイヘイドライバーズスクール

いわき支部が事故防止研修会を開催した。
参加者は高齢化社会において、運転手の方が事故を防ぐための運転方法を学んだ。

ふくトラ・インフォメーション

助成事業冊子（紙媒体）配布の終了について

県ト協では毎年度、紙媒体での「助成事業冊子」を全会員へ配布しておりましたが、環境保全に配慮したペーパーレス化および電子化による業務効率化を推進するため、令和６年度をもって紙媒体での配布を終了いたします。

令和７年度からは、当協会ホームページで**「電子データのみ掲載」**とさせていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

トラック運転者の健康診断受診助成事業（一般会計）について

従来の「トラック運転者の健康診断受診助成事業」は、運輸事業振興助成交付金で助成を行うため、健康診断の受診及び支払・申請が毎年度４月１日から２月末日までのものを対象とし、３月に健康診断を受診及び支払った場合は、助成対象外としています。

このことについて会員から多くの問合せや要請があり、交付金委員会で検討した結果、令和７年度より当分の間、３月に健康診断を受診した場合も、一般会計の財源で助成することにしました。

また、２月に健康診断を受診した場合、医療機関からの請求書発行の関係で２月中に支払いが困難であったケースについても交付金特別会計事業では助成対象外としていましたが、２月に健康診断を受診し、３月１日以降に支払った場合も一般会計の財源で助成することにしました。

※２月に健康診断を受診・当月中に支払い完了の場合は、交付金特別会計事業で助成するため一般会計の財源での助成の対象外とします。詳細につきましては、３月号に同封となりますので、ご確認お願い申し上げます。

問い合わせ先 公益社団法人福島県トラック協会 業務部（交付金グループ） **TEL：024-558-7755**（ガイダンス１番）

会津本郷貨物運送㈱が「ラッピングトラック」で会津を発信

場　所 福島県トラック協会 会津支部

参加者 会津若松商工会議所　山本 真一部会長
会津本郷貨物運送㈱　細谷 博之社長
會津通運㈱　渡邉 康夫会長　他

令和６年11月８日㈫、会津若松商工会議所卸物流会が「会津ナンバー」普及促進と会津観光ＰＲを目的に実施しているラッピングトラックのお披露目会が催された。このラッピングトラックは、首都圏をはじめ全国各地を「会津の走る広告塔」として走っている。

トラック 会津本郷貨物運送㈱所有10ｔトラック

デザインのテーマ 「会津の四季」として、春の鶴ヶ城、夏の大内宿、秋の塔のへつり、冬の只見線とつづき、会津若松市公認キャラクター「会津侍若松っつん」も描かれ、親しみやすいデザインとなっている。

長時間労働削減企業であるハシコー梱包運輸を労働局長が訪問

厚生労働省では長時間労働の削減等の過重労働の解消に向けた「過重労働解消キャンペーン」を実施している。キャンペーンの取組みの一環として、11月21日㈭に井口真嘉福島労働局長が㈲ハシコー梱包運輸を訪問し、橋本一美社長や取引先企業である東北旭紙業中澤雅明部長などと意見交換した。

意見交換の内容
- 長時間労働の削減等に関する取組内容
- 年次有給休暇等の取得促進、柔軟な働き方の促進に関する取組内容
- 職場の安全衛生管理に関する取組内容

令和６年度「トラックの日」キャンペーン事業
（公社）福島県トラック協会スペシャルマッチを開催

開催日 令和６年12月18日㈬　**場　所** 須賀川市 円谷幸吉メモリアルアリーナ（旧:須賀川アリーナ）
対戦カード 福島ファイヤーボンズ VS 富山グラウジーズ　**当日来場者** 約1,100名

当事業は例年、「トラックの日」（10月9日）をPRし、トラック運送業界への理解を深めていただくために実施しています。本年度は、B2バスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」に協賛し、協会名の冠試合を開催しました。

佐藤信成会長による主催者あいさつ・PR動画上映・福島県トラック協会オリジナルグッズが入った「福トラ袋」の配布などにより、トラック運送業界のPRを行いました。また、ハーフタイムには福島県トラック協会チームと試合会場の地元須賀川市役所職員チームにより綱引き対決が行われ、会場を大いに盛り上げました。

来場者に配られた「福トラ袋」に当たり券が入っていた方には、オリジナルのネックウォーマーや、女子トラPRの一環として作成したリンゴジャム・アップルティーが贈られ、一足早いクリスマスプレゼントとなりました。

当たりを引いた来場者へオリジナルグッズのプレゼント！

負けられないもう一つの戦い

ふくトラくんも会場を盛り上げました！

佐藤星来選手、ラポラス・アイヴァナーカス選手と記念撮影！

女性へのイメージアップへ！

#女子トラ走る

イメージアップPR動画
いわき市 料理教室ver. レシピ

#女子トラ走る YouTube

#女子トラ走る いわき市・料理教室バージョンの中に映る料理のレシピをご紹介。
ぜひ作ってみてください♪

アスパラ・レモンクリームパスタ（2人分）

アスパラガス	1/2束	レモン汁	大さじ1
玉ねぎ	1/4個(50g)	塩・こしょう	各少々
にんにく	1/2片	ショートパスタ	160g
オリーブ油	大さじ1	塩	大さじ2
B 生クリーム	100ml	生ハム	2〜3枚
B 牛乳	80ml	レモンの表皮	少々
B 粉チーズ	大さじ2	粗びき黒こしょう	少々

1. アスパラは根元の皮をむき、4cm長さに切る。玉ねぎは5mm幅の薄切りにする。にんにくは潰す。
2. 鍋にたっぷりの湯を沸かし、塩を大さじ2入れる。パスタを入れて表示時間通りに茹でる。残り時間1分のところで、アスパラガスを加えて、一緒に茹でる。
3. フライパンにオリーブ油・にんにくを入れ、中火にかける。にんにくが香ばしく色づいたら、取り出す。
4. 玉ねぎを加えて炒め、しんなりしたらBを加える。中火で温め、ソースがしっかり温まったら、レモン汁を加え、トロミがついてきたら塩・こしょうを加えて味を整える。
5. ②のゆで汁を1カップほど取っておき、ザルに上げてパスタの湯をきり、④に加え、よく混ぜる。（ゆで汁でソースの濃度を調整する）
6. 器に盛り、生ハムを飾り、粗びき黒こしょうを振る。仕上げにレモンの皮をおろして散らす。

旬の魚のアクアパッツァ（2人分）

切り身魚(鯛・鮭など)	2切れ(160g)	オリーブ油	大さじ1
塩	小さじ1/6	塩・こしょう	各少々
アサリ	6〜8個	EVオリーブ油	大さじ1
A 黒オリーブ	4〜5個	スプラウトなど	適宜
A ミニトマト	6個	水	200ml
A ケッパー	小さじ1		

1. 魚は塩をふって10分ほど置き、出てきた水気をキッチンペーパーでふく。アサリは塩水に2〜3時間浸けて砂出しをし、殻をこすり洗いする。
2. 黒オリーブ・ミニトマトは半分に切る。
3. フライパンにオリーブ油大さじ1を中火で熱し、①の魚の皮目を下に並べる。魚を押さえて、皮に焼き色がついたら裏返す。
4. 水200mlを注ぎ、Aを加えて中火強で煮立て、さらにアサリを加えて2〜3分煮込む。
5. アサリの口が開いて、魚に火が通ったら、塩・こしょうで味を整える。強火にし、EVオリーブ油を加えてしっかり煮立て、鍋を揺すりながら煮汁に軽いとろみがつくまで煮る。器に盛り、スプラウトを飾る。

撮影協力・レシピ提供：料理教室 FRASCO

A day in the life

vol.03

今活躍している女性たち

県内の運送業界で活躍している女性の魅力をご紹介します

今回ご紹介するのは、郡山市にある㈲大原運送の大原亮子さん。社長のサポートとして全ての業務に携わりながら、運行管理、労務管理、経理全般業務を行っています。運行管理の資格取得の際には、当時お子さんが小さかったため、子育てしながら夜中から朝方まで2週間勉強を行い、見事一発合格されたとのことです！また、今年度から女性部会の役員にも抜擢され、より一層、積極的に部会活動も行っています。休日に気心の知れた友人とゴルフに行ったり、友人・家族と焼肉を食べに行ったりすることが元気の源と語る大原さん。いつもポジティブで、それが自然体でもある大原さんの今後の活躍にも期待しちゃいます！！（矢吹）

お仕事中

女性部会東北ブロック研修会出席のため仙台へ

運行管理、労務管理、さらに経理をこなす！

大原運送のユニフォーム！

県ト協のソフトボール大会にも出場

何度も優勝していて、優勝カップも飾っています。
実は学生の頃、ソフトボールの経験があり、お子さんもソフトボールを始めたのをきっかけに、指導者資格を取得し、5年間指導者として活動も行っていました。

休　日

郡山市の駅近くにある大原さんおすすめの焼き肉屋をご紹介！

No.5（なんぱーふぁいぶ）
営業時間：18:00～23:00
定 休 日 ：日、祝、祝前日

こちらの軟骨がおススメ！

家族と行くことが多いお店。
軟骨とハイボールが特におススメです。

友人たちとゴルフ

東都郡山カントリー倶楽部は、自宅から30分と近いため、友人とよく行くコース。バンカーも少ないので初心者にもおススメです。
友人とのゴルフはハプニングも多く笑いが絶えないです。カートを縁石に乗り上げてしまったときは、慌てて女子4人でカートを持ち上げて元に戻したこともあります。

自宅前

高齢の両親のために自宅を新築したことを機に、ガーデニングにハマりました。自宅前には、1年を通して様々な種類のバラが咲いています。

くぼた屋
営業時間
平　　日：18:00～25:00
土・日・祝祭日：17:00～25:00
定 休 日 ：水曜日

激辛ユッケジャンスープ

この辛さがたまらない！

いかさし

友人と行くことが多いお店
激辛ユッケジャンスープ、
いかさしが特におススメです。

今回ご紹介出来なかった内容は、
トラック協会ホームページに掲載しますので、
ぜひご覧ください。

大原さんより

弊社は、昭和49年に設立以来、変化する物流業界の中、様々な困難も乗り越え、歩んで参りました。また、安全第一を最優先し、地域社会・お客様・従業員三者一体となって協力し共に発展し、社会に貢献する事を目標としています。まだまだ男性の活躍が主であるこの業界の中で、女性である自分が何を求められ、何を答えられるのかを考えていくことが私の課題です。社内では、従業員の方々が少しでもストレスなく勤務できるよう、自然な心配りが出来る女性管理者を目指して行きたいと思います。

有限会社大原運送　大原 亮子

女子トラと歴史のわだちでエトセトラ

#1

県南エリアをめぐる

今回から新企画をスタートします。広報誌のタイトル「わだち」にちなみ、県内の「歴史のわだち（人や物が通った跡）」を実際に訪れ、地域のおすすめスポットを「女子トラおすすめ」として紹介！

さらに、協会Xで好評掲載中（!?）の「トラがつくものエトセトラ」を巡る…そんな盛りだくさんの企画です。

初回は、県南地方へ出かけてきました。

1 白河の関跡（白河市）

最初に訪れたのは、歴史のわだちで「白河の関」です。奈良時代から平安時代にかけて設けられた国境の関で、当時は人や物の往来を取りしまる役割を果たしていたと考えられています。やがて律令制の衰退とともにその役割を失ってからは、都の文化人たちの憧れの地となり、“歌枕”としても知られるようになりました。近世以前の白河の関を詠んだ古歌は103首もあるそうです。その中の一首「都をば　霞とともにたちしかど　秋風ぞ吹く白河の関」は、平安期中古三十六歌仙のひとり能因法師の作です。白河から京都まで、今はトラックで輸送するなら往復でも数日の行程でしょうが、平安時代には多大な時間と困難が伴っていたことでしょうね。

残された土塁に昔の面影をわずかに感じます。階段を登りきったところには神社が鎮座し、近くには遊具を備えた公園も整備されています。途絶えることなく人が訪れていました。

空飛ぶ狛犬

2 村社鹿島神社（白河市）

小松寅吉は、石彫刻では不可能と思えるほどの細かな紋様や透かし彫りの技巧を凝らすことを得意としていました。また、一般的な蹲踞（そんきょ）スタイルの狛犬とは一線を画し、あたかも雲に乗り空を飛んでいるかのような「飛翔獅子」という斬新なスタイルを発明しました。白河市東下野に鎮座する鹿島神社では、その斬新なスタイルを堪能できる狛犬を見ることができます。

今回、「トラがつくものエトセトラ」で取り上げるのは、名前に「寅」が付いている「小松寅吉」です。「誰それ？」という方が多いでしょうが、今や知る人ぞ知る、明治時代に活躍した石像彫刻家です。技巧を凝らした石彫刻作品を多数残し、特に狛犬彫刻を芸術にまで高めた名工とされています。県南地方にはその小松寅吉とその弟子たちの狛犬を始めとする石像が数多く残されています。今回、その中のいくつかを紹介します。

女子トラおすすめは、本協会女性部会の大竹ゆかりさん（大竹運送㈱）の案内で、白河市の「SHOZO　SHIRAKAWA」、泉崎村の「直売カフェこころや」、矢吹町のお菓子屋さん「Happy Berry」を訪れました。

3 BakeShop HappyBerry（矢吹町）

地元の食材を活かしたお菓子作りに取り組んでいるとのこと。駅や4号国道からは離れた場所にもかかわらず、ひっきりなしに来客がありました。地元の学生さんにはソフトクリームが学割になっています…

オーナーの小磯さんは、大竹さんの後輩とのことですが、紹介してくださった大竹さん同様に地元愛にあふれた、お菓子屋さんなんだなぁと感じました。

4 近津神社（石川町）

寅吉の出身地である石川町の近津神社。そこにある石造神馬は、寅吉が明治30年に造立した作品です。日清戦争に軍馬として徴用された馬の慰霊像とのこと。静かなたたずまいの中にも堂々とした立ち姿となっています。昔は物の運搬は馬がメインだったのでしょうね。今はトラックがその役割を果たしています。

東北の玄関口である県南地方は物流の拠点！

5 金久山貫秀寺（浅川町）

浅川町にある貫秀寺には、福島県では唯一の全国でも珍しい即身仏が安置されています。1683年、宥貞上人が伝染病に苦しむ人々を救うため石棺に入定したとのことです。
拝観には事前の連絡が必要です。さて、このお寺の境内にある墓地にも寅吉の作品があります。お墓を囲む石柵に虎や獅子などが彫られています。

6 松尾芭蕉の像（須賀川市）

歴史のわだちをなぞる旅

歴史のわだちを2か所目は、須賀川市の結の辻です。俳聖松尾芭蕉と弟子の曽良の石像が立っています。須賀川は江戸時代から奥州街道屈指の宿場町として栄え、町人文化も花咲く活気に満ちたまちでした。芭蕉は「おくのほそ道」の旅で、かねてから親交のあった相楽等躬（さがらとうきゅう）を訪ねて8日間滞在しました。芭蕉はこの後も福島県内を奥州街道を通って北上します。「わだち」のこの企画も、芭蕉と同じように旧奥州街道を北へ歩みをすすめていくことになりそうです。

7 SHOZO SHIRAKAWA（白河市）

南湖公園湖畔にあるカフェです。カフェとしては不思議な間取りの店内ですが、前は産婦人科医院だったという建物をカフェに改装したとのことで…納得です。

女子トラおすすめ♪

みちのく物語が始まる白河の関は県南に位置し、県南支部名称由来にもなっています。
県南は風光明媚な所が数多く、白河ラーメンの味を土産にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

県南支部
橋本支部長

県南地方は「みちのくの玄関」とされています。そんな県南には魅力たっぷりの観光地やグルメスポットがたくさんあります。
今回は忙しい時代を生きる方に忙しくても自分の時間が持てればと思い、お勧めの癒しのお店をご紹介させていただきました。ぜひ、一度県南地方へお越しいただけると幸いです。

今回の女子トラ
大竹運送（株）
大竹さん

8 直売カフェ こころや（泉崎村）

社会福祉法人こころんが運営する野菜などの直売所とカフェが併設されたお店です。
障がいをお持ちの方も働いています。我々は日替わりの「気まぐれランチ」をいただきましたが、野菜中心のおかずはとってもヘルシーでおいしかったです。このお店は白河の関トラックステーションの近くにあり車だったら2～3分の場所ですよ。

陸災防 NEWS 今月のお知らせ

創立60周年記念 第60回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会が開催

開催日　令和６年10月28日㈪　　場　所　東京都品川区 きゅりあん（品川区立総合区民会館）

創立60周年記念 第60回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会が開催された。

福島県支部からは、役員、表彰者等合わせて11名が参加した。大会では、以下の事業所等が表彰された。

《令和６年度安全衛生表彰式》

安全衛生表彰（事業場・個人表彰：功績賞）

・菅野 高志（㈲菅野運送店（会津分会））
・安藤 正二（陸災防福島県支部）

永年勤続表彰（10年勤続）

・白井　郁（陸災防福島県支部）

優良フォークリフト等運転者表彰

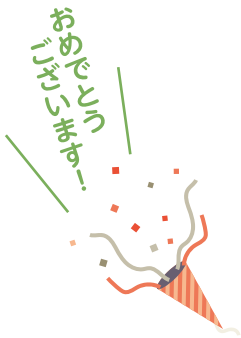
・山崎 夏貴（丸力運送㈱物流センター（相双分会））
・菅原　隆（日本通運㈱仙台支店ロジスティクス第三部 郡山物流事業所郡山営業課（県中分会））
・金成 秀樹（いわき大王紙運輸㈱（いわき分会））
・高槻 武寿（ヤクルトロジスティクス㈱福島営業所（県北分会））

安全衛生標語顕彰（県内所属入賞作品）

＊健康部門

［最優秀賞］『健康診断 受診はスタート 向き合いましょう 健診結果』
吉田 明美　　吉田運輸㈲（相双分会）

［優 秀 賞］『聞こう話そう あなたの悩み 仲間とケアする メンタルヘルス』
阿部 真希　　岩代運送㈱（県中分会）



令和6年度「第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議」を開催

開催日　令和6年11月20日㈬　　場　所　福島市 福島県トラック協会研修センター

令和６年度第２回陸運災防指導員・分会事務局長会議は、田母神常任委員・支部管内災防指導員（分会事務局長）、全９名が出席し、来賓として福島労働局健康安全課 皆川安全衛生係長をお迎えし開催された。

会議冒頭、田母神常任委員より挨拶があり続いて、来賓の皆川係長より、年末年始の事故の傾向等の説明があった。その後議事に入り、令和６年度のこれまでの事業経過報告を行った後、「令和６年度年末・年始労働災害防止強調運動」の取り組み等についての説明、協議が行われた。

◀来賓挨拶：福島労働局　皆川安全衛生係長

令和6年度 厚生労働省補助事業「荷主等と陸運事業者との連携・協力促進協議会」を開催

開催日　令和６年11月８日㈮　　場　所　福島市 福島県トラック協会研修センター

運送業における労働災害の内訳は、荷台等からの墜落・転落、転倒、腰痛、荷役運搬機械災害といった荷役作業時における労働災害が約７割を占めており、さらに、これら荷役作業時の労働災害発生場所の約７割は荷主・配送先・元請事業者等の事業場となっている。

このような現状を鑑み、陸運業における労働災害防止は、荷主等の理解と協力が重要であることから、荷主等協議会を設置し、荷主等に対し「荷役作業の安全対策ガイドライン」の周知を目的とし県内各労働基準協会等の代表者11名が参加して開催された。

冒頭、陸災防の佐藤支部長より主催者あいさつがあり、福島労働局健康安全課の加藤産業安全専門官から荷主等事業場における労働災害発生状況の説明を受けた。

続いて、陸災防、白井事務局長から「陸災防の取組状況」の説明と、陸災防、田母神常任委員から「陸運事業者の現状と課題」についての説明を行った。

新年あけましておめでとうございます

本年もトラック運送事業者様の共済

東北交通共済

をよろしくお願いいたします

ご連絡いただければ職員がお伺いしてご説明申し上げます。
保険設計、何でもご相談を無料で承ります。

東北交通共済は非営利組織として運送事業者に特化した自動車共済（保険）、自賠責共済（保険）、各種損保商品の販売及びトラックの事故防止事業を運営しております。

トラック協会と共に歩む全国トラック交通共済連合会加盟の東北交通共済にお気軽にご相談ください。

Face to Face！ お会いしないとトラック共済の良さはお伝えできません。

悩む前にまずお電話を！！

トラック共済の特徴

① トラック共済独自の掛金率。
② 多数割引は最大で 10%、優良割引は最大で 70%、業界トップクラスです。
③ 契約後の異動・減車・解約処理はすべて日割りで計算します。短期率の処理は行っておりません。
④ 優良割引率は損害率による算定方式を採用。共済金支払いによる優良割引率ダウンは 1 年度に 15%～20%を限度、また大口共済金支払い案件については 2 年度までの反映としており、過去の事故を長く引きずりません。
⑤ 車両共済は、掛金の割増なしで価格協定としており 1 年間で共済価格は減価しません。
⑥ 事故処理も契約者毎の担当者制を採用、事故担当者の顔が見える円滑な事故処理が可能です。
⑦ 車両の入替えに車種による制限はございません。
⑧ 決算剰余金が出た場合、利用分量配当金がでます。（過去最高 33%）
⑨ 不測の事態に備え、対人・対物の再共済制度に加入しております。
⑩ 損保の代理店業務も行っておりますので損保商品（貨物補償制度・業務災害補償制度など）も取り扱っております。

福島支部　担当 下田・齋藤
福島市飯坂町平野字若狭小屋３２
TEL　０２４－５５５－０１０７
FAX　０２４－５５５－０１０８

郡山支部　担当 山崎・佐々木
郡山市喜久田町卸３丁目 7−2
TEL　０２４－９５３－３４２０
FAX　０２４－９５３－３４２１

又は
福島県トラック協会
田母神専務理事（東北交通共済理事）まで

第56回 全国トラックドライバー・コンテスト

競技	表彰式
開催日 令和６年10月26日(土)～27日(日)	開催日 令和６年10月28日(月)
場所 茨城県 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所	

４部門（４ｔ部門、11ｔ部門、トレーラ部門、女性部門）に各都道府県から推薦された合計142名の選手が出場した。学科競技（法規200点、構造機能100点、運転常識100点）と実科競技（運転技能・点検600点）によって、トラックドライバー日本一の座が競われた。

戦いを終えた各選手の感想

おつれさまでした！

11ｔ部門
柳沢　匠 選手
（ヤクルトロジスティクス㈱）

全国大会出場を通じて、法規や交通安全等に対する意識が向上し、車体操作や安全運転の重要性を再認識しました。練習の成果が結果に影響することを実感しました。次回も挑戦出来たなら、今回得た教訓を活かし、より良い結果を目指したいと考えています。

トレーラ部門
近藤 正行 選手（菱化ロジテック㈱ 東北支店）

昨年に続き２回目の出場で、今年は入賞を目標に学科と実技を繰り返し練習しました。大会では大きなミスなく競技できましたが、目標は達成できませんでした。全国のドライバーとの競争は貴重な経験となり、今後はさらに安全運転を心掛け、模範となれるよう努力します。

全国大会に初参加し、初日は緊張で多くの失敗をしましたが、２日目には少し落ち着き、特にバックスラロームがスムーズにできたことに満足しました。大会を通じて法令や安全運転、エコドライブについて再学習でき、良い経験になりました。次回も挑戦したいです。

女性部門
大内 さゆり 選手（日本郵便輸送㈱ 東北支社郡山営業所）

編集後記

Happy new year

新年あけましておめでとうございます。
昨年は多くの会員の皆様にご協力をいただきながら事業に取り組みました。ありがとうございました。
本年も、多くの皆様に関わらせていただくことを楽しみにしております。
「トラックの日」キャンペーン事業は福島ファイヤーボンズの冠試合を12月18日に実施いたしました。
前日から青年部会、女性部会の皆さんに重労働のご協力をいただき、準備を進め、当日は残念ながら負けてしまいましたが、応援や本気の綱引きで大変盛り上がることができました。私は前日の準備で腰を痛めてしまい当日の綱引きに参加できませんでした。残念でした。

菅野

2025年が始まりました。新しい年のスタートに、どんな出会いや挑戦が待っているのかワクワクしています。
今年もトラック業界の未来に向けて、ひとつずつ「わだち」を刻んでいきます。運送業界をもっと身近に感じてもらい、「ドライバーになってみたい！」と思ってもらえるような企画をどんどん考えていきたいと思います。
未来のドライバーさんたちとの新しい「わだち」をつくるために、会員皆さまと一緒に楽しく明るい１年をつくり上げていければと思います。
本年もどうぞよろしくお願いいたします！

佐藤

明けましておめでとうございます。
昨年は、会員の皆さんにたくさんのご協力いただきありがとうございました。本年も皆さんに楽しんで参加いただいて、わだちも楽しんで読んでいただけるよう、引き続き取り組みたいと思います。
寒さも一段と厳しくなってきましたよね。私の家では、ぶり大根が頻繁に食卓に登場し始めると、冬がきたなぁと感じます。
皆さんの家では季節を感じる定番料理はありますか？

冬の我が家の定番

矢吹

トラック広報　わだち１月号（通巻517号）
2025年1月１日発行（2ヶ月毎に１回）

編集発行
公益社団法人 福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755㈹　FAX 024-558-7731
HP　http://fukutora.lat37n.com/